

独立した歴史

歴史書の中で最も多く取り上げられるのは、日本の主要な島である本州（京都、大阪、東京などがある島）です。しかし、北海道の先住民であるアイヌ民族にも長い歴史があり、アイヌ民族と本州の人々の接触は7世紀まで遡ると考えられています。1590年、本州の松前藩に北海道の主権が与えられました。彼らは支笏湖地方を含む北海道の南部に拠点を構えたものの、その土地はわずかに開拓ただけでした。本格的な成長が始まったのは、東京に新しく立ち上がった明治政府がロシアに対する防衛として北海道の開拓に取り掛かる19世紀に入ってからのことでした。それからの100年間で交通、農業、商業、その他の産業が推し進められ、北海道は日本国内にありながら「新しい」国家のようになったのです。